

令和5年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計		事業主体	01300000	市民福祉部 福祉課		
大事業	E1	6つのまちづくり宣言	地域再生	款項目	03	民生費		
		目指す姿	地域の魅力をアップデート！	01	社会福祉費	01	社会福祉総務費	
中事業	04	主要な取り組み	みんなの活動を、みんなで支える	K P I	あい愛バス利用者数		目標値	120,000人
小事業	06	地域きずな事業			住みよいまちだと感じる人の割合			80.0%
				目標年度	令和6年度			

インプット	事業実施の背景にある課題	地域共生社会の実現には、人が主体的かつ自発的に人生を歩みつつ、自己実現及び他者へ手を差し伸べる行動を喚起していく必要があり、そのためには、自己肯定感・自己有用感・自己効力感の形成が求められる。これらは、人は他者から必要とされる経験を経ることにより、自分の存在意義を実感することで育まれていくものの、地域コミュニティの結びつきに綻びが生じつつある現在では、高齢者等の社会とのつながりを喪失しやすい人の社会的孤立が課題となっている。こうした社会的孤立を防止するためには、世代属性を超えた多様な交流および一人ひとりの役割と出番の創出につながる仕掛けが必要である。				
	事業目的	(1) 対象 地域住民（主に高齢者）の孤立の解消及び保育園と地域住民の交流 (2) 目的 地域住民が市立保育園を訪れ、園児と食を共にし、遊びの時間により交流することで、高齢者を始めとする地域住民の孤立の解消と交流による保育園の情操教育効果を狙い、地域での積極的な交流関係の構築を図る。				
	事業概要	高齢者を主とする地域住民が定期的に保育園を訪れ、食事や遊びの時間を共有する。保育園児にとっては、地域住民との貴重なふれあいの時間となり、高齢者等にとってはこどもと関わる有意義な時間となることにより、地域共生社会構築の一環とする。				
	事業費（千円）	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	975	975	975	975	975
	決算額	0	0	0	426	
	年間の事業に要する時間（正職員/正職員以外）	202 /		0		

アウトプット	活動指標（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
	交流会の周知回数	目標値	2	2	2	2	2
		実績値	0	0	0	2	

アウトカム	K P I（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
	参加した地域住民の数	目標値	540	540	100	100	50
		実績値	0	0	0	14	

実績	実績	市内保育園で園児と民生委員等の交流会を実施 3園で14人の民生委員が参加した
	効果	園児と地域の住民とが遊びを通じてふれあうことにより、地域共生社会構築の一環となった。参加した民生委員は事前におもちゃを作成するなど、子どもと関わることを喜んでおり、交流を楽しんでいた。園児も普段交流の無い大人と交流することを心から楽しんでいる様子だった。当日用におもちゃを購入し保育園に配るため、事業後も利用でき、好評である。

評価分析	活動指標分析 目標値の達成・未達成要因	民生委員へ参加募集の依頼や周知を実施した。本来なら広報などで参加者の一般募集を行うべきだが、誰でも園児と触れ合うことができるようにすることは安全面などからまだ難しいと保育園との相談であった。そのため、民生委員に参加を依頼しているが、今後はどうしていくべきか検討していく必要がある。
	K P I 分析 目標値の達成・未達成要因	保育園が地域住民を何人でも受け入れることが出来るわけではないため、受け入れ可能人数が少数であることから目標値を達成できなかった。また、スケジュール的にも全ての保育園では開催できず、3園で1回ずつの開催であった。1年間に何回も交流会を設けることは保育園のスケジュール的にも難しいことが分かった。上記からR6年度以降の目標値が現実的ではないため修正する。
	実績からR06年度の事業の方向性	今年度実施ができていない保育園にて、同様の交流会を開催予定である。しかし、園児にとっては、地域住民との貴重なふれあいの時間となっているが、地域住民側は限られた民生委員のみの交流に留まっており、多くの地域住民が参加できるようなものにはなっていない。そのため、交流会は継続しつつ、他に多くの参加者が園児と触れ合うことができるイベントを検討していきたい。